

1 1 4. パニック値報告所要時間

目標報告時間	パニック値発見から報告までの時間が30分以内							
達成目標	パニック値発見から報告までの所要時間を30分以内達成率80%							
	血液検査室		生化学検査室		一般臨床検査室		微生物検査室	
	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)
4月	100%	6	100%	1	100%	6	100%	21.3
5月	100%	7	100%	2	100%	4	100%	14.1
6月	99%	5	100%	2	100%	6	100%	9.8
7月	100%	7	100%	1	100%	8	90%	8.25
8月	100%	6	100%	2	100%	9	93%	8.2
9月	99%	6	100%	1	100%	13	100%	5.375
10月	100%	6	100%	2	100%	14	100%	10.09
11月	99%	5	100%	2	100%	14	100%	8.15
12月	99%	7	100%	1	100%	6	100%	7.38
1月	100%	7	100%	3	100%	6	100%	7.5
2月	99%	5	100%	1	100%	8	100%	10.4
3月	100%	7	100%	2	100%	8	100%	7

	心電図検査室		肺機能/脳波検査室		超音波検査室	
	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)
4月	100%	9	100%	5.0	100%	6
5月	100%	8	100%	6.0	100%	8
6月	100%	11.9	100%	5.0	100%	55
7月	93%	11.1	100%	7.0	100%	7
8月	100%	12	100%	9.0	100%	37
9月	100%	7.6	100%	10.0	100%	6
10月	100%	8	100%	10.0	100%	8
11月	100%	10	100%	5.0	100%	8
12月	100%	13	100%	9.0	100%	35.5
1月	100%	10	100%	12.0	100%	5
2月	100%	13	100%	5.0		
3月	100%	7	100%	7.0	100%	6

パニック値 (panic value) は「生命が危ぶまれるほど危険な状態にあることを示唆する異常値で直ちに治療を開始すれば救命しうる可能性がある」とされる。そのため、臨床検査部ではパニック値を設定し、発見時には直ちに臨床へ報告する体制を整えている。2021年度のパニック値発見から報告までの30分以内達成率は、ほぼ100%であり目標は達成できている。また2021年度は、臨床のニーズに準じた無駄のないパニック値報告をシステム化するために、パニック項目、パニック値のcut off値、前回値との許容幅、治療内容によるパニック値報告必要性の有無など様々な集計を行った。2022年度は臨床検査部発信の下、パニック値報告の運用について臨床と検討し、より実臨床に則したパニック値報告のルールを再設定していく予定である。

データ提供 臨床検査部